



チェーンソーやノミなどを巧みに使って

## 調理師ら17人が自慢の腕を 氷の彫刻展

関東を中心に全国各地から調理師らが集まり技術を競う「氷の彫刻展」が3月8日、成田山新勝寺大本堂前広場周辺で行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、気温が上がらず氷にとっては良い条件となりました。職人の熟練の技術にかかると、2時間余りで四角い氷柱が精霊や羊、カジキなどの形に。美しく透き通る作品を目にした参詣客は、足を止め感心した様子で見入っていました。



「Flower Nymph ~花の精~」と題された作品



竹串を使って飾りを好きな位置に

## ビー玉やビーズ散りばめて ジェルキャンドルをつくろう

ホワイトデーの3月14日に「ジェルキャンドルをつくろう」が子ども館で行われました。ジェルキャンドルは、透明な容器にろうそくの芯を立て、液体のジェルを流し込み、その中にビー玉やスパンコールなどの飾りを入れて作ります。固まったジェルの層の上にさらにジェルと飾りを重ねると、キラキラと光る飾りが浮いているように見え、まるで海の中のよう。参加した男の子は「作ったキャンドルはバレンタインデーのお返しに渡します」と話していました。

## いつまでも明るく健康に

### 生きがいセミナー

高齢者に健康づくりや新たな趣味づくりをしてもらおうと「生きがいセミナー」が3月に中郷公民館・八生公民館・大栄公民館で行われました。生きがいセミナーは、その地区に住む人たちを中心とした実行委員会が企画を行います。3月1日、中郷公民館では、健康講座や健康体操、マジックや手話ダンスなどのサークル発表が行われました。参加者は、講座を通してほかの参加者と意見を交わしたり、サークルの発表に合わせて体を動かしたりして、交流を楽しみました。



歌詞に合わせた手話を会場も一緒に



名残を惜しみホームに溢れる人たち

## ラストランにファン殺到

### 京成3300形さよならイベント

昭和43年から運行され「赤電」と親しまれた車両「3300形」が、2月28日ラストランを迎えました。列車はこの日「特急成田山号」のヘッドマークを掲げ臨時特急で上野～成田間を運行。終点京成成田駅に定員の1.5倍の乗客を乗せて到着し、別れを惜しむ約600人の鉄道ファンに見守られ46年間の勤めを終えました。美郷台から家族で訪れた小学3年生の男子は「撮れたか」と聞く父親に向かい「撮れたよ」と自分のカメラを手に声を弾ませて答えました。

## いつもの道で新たな発見

### 歴史ウォーキング

市内にある史跡を見学して歴史を学んでもらおうと「歴史ウォーキング」が各地区で行われています。講師の解説を聞きながら4～5kmの距離を歩き、2月28日には久住地区で尾羽根川<sup>おぼねがわ</sup>や円通寺、八幡神社などを、3月7日には下総地区で天満宮神社や弁天堂、眞城院<sup>ましろいん</sup>などを散策。参加した人は「普段は何気なく通っている道にも石碑があることを初めて知った。新たな発見があってよかった」と話していました。



地藏菩薩を目指して前進  
(尾羽根川)



住職が寺の歴史などを解説(眞城院)



「恋するフォーチュンクッキー」に合わせてベルを使ったダンス



点数の書かれた穴に打球を入れるスカットボール

## 運動できる環境を身近に

### 総合型地域スポーツクラブ

年齢などに関係なく、誰もがそれぞれの好みや目的に応じてスポーツを楽しめる場を提供する「総合型地域スポーツクラブ」。その設立に向け、市民にクラブ活動を体験してもらうためのプレ事業が3月4日・9日・11日・18日・23日・25日に市体育館で開催され、参加者は

ニュースポーツ、バウンドテニス、3B体操、太極拳で体を動かしました。いずれの競技もスポーツの経験や身体能力に関わらず、誰でも気軽に楽しめるとあって、参加者はそれぞれのレベルに合わせてスポーツに親しみ、心地よい汗を流しました。